



◆図書館だより◆

2020年2月5日 No331

なんだりかんだり



"NANDARI-KANDARI" means "Anything". In other words we call it "森羅万象".

日本大学第二学園図書館

## ◎はじめに

沖縄本島では年明け早々に寒緋桜が咲き、ここ東京では寒風の中で水仙や梅の花が咲き始め、一足早い春を迎えようとしています。暖かい日が待ち遠しいこの頃ですが、皆さん、お元気でお過ごしでしょうか？

さて、第3学期もいよいよ中盤に入り、この年度の総仕上げを残すのみとなりました。初心を今一度思い出し、日々の積み重ねを大切に、自分の進むべき方向性を決してぶれる事無く、最後まで全力で突き進んで行って欲しいと思います。

自主創造のためにどれだけ時間を費やしたかは、その後様々な形となって、自分に戻ってくる筈です。躊躇せず、何事にも“おもいっきり”チャレンジしてみてください。応援しています！

## 春浅し朝に残いし月見上げ[耕]

### 🐘 そうさんの独り言 🐘

世の中にSF作家は多けれど、『ねらわれた学園』や『なぞの転校生』等で、SF小説の不思議な世界を著し、人気のあった眉村卓氏が昨年11月3日にご逝去されました。享年85歳。青春時代に物語の面白さや読書の楽しさを教えられた人も多いと思います。先生がちょうど古希を迎えられた頃に、奥様が癌になられ、励ますために1日1話、五年間で1、778話の短編集を書かれたそうです。メディアのインタビューで、「一度も大変だと思わなかった」とお答えになったそうですが、奥様へのとても深い愛情や優しさが感じられます。先生はお亡くなりになられる最後の最後までベッドの上で執筆をされていたそうで、「文章を書いて著す」強い信念や気迫が伝わって参ります。これでまた、昭和の文学界の偉大な星が、大きな夜空にのぼってしまいました。ご冥福をお祈り致します。

※ この紙面は学園のホームページからもご覧いただけます。<http://www.nichidai2.ac.jp/>

## —図書館とわたしたち—

=本の起源=

漢字の「本」は、「木」という漢字の中心線の部分のやや下寄りのところに短い横の線で「しるし」をつけることによって、その部分を指し示した文字であり、樹木の根元を意味していると言われ、日本では「ものごとのおおもと」という意味を表すようになった。本は書籍または書物とも呼ばれ、木、竹、絹布、紙等の軟質な素材に、文字、記号、図画等を筆写、印刷し、糸、糊等で装丁・製本したもの。英語の book、ドイツ語の buch は古代ゲルマン民族のブナの木を指す言葉から出ており、フランス語の livre、スペイン語の libro は元々ラテン語の木の内皮 (liber) という言葉から来ている。3000年以上前、古代インカ帝国を初め様々な地域で、縄や貝、木の棒で記録を残そうと試されていて、そのうちの「木の皮を剥ぎ、書き写す」というものが起源であると言われている。

## 図書館より

○本年度は2月19日(水)をもって、図書の最終貸出日とします。

それに伴い、最終返却日は2月26日(水) 昼休みまでとなります。

○その後、3月中は年度末の諸作業(蔵書点検、図書館システムの点検、新年度移行に伴う学年更新他)を実施するため、通常の間書の貸出し、また年度末休業日や春季休業日中の図書の貸出しは致しませんので、注意してください。

○上記、諸作業を実施するため、合わせてこの間の図書館開館業務も致しませんので、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

○現在、図書の貸出しを受けている人は、出来るだけ早めに返却するようお願いいたします。

○年度末・春季休業日中の図書館2階「学習室」の開室日、開室時間等の詳細については、後刻、学校長よりお知らせがあります。